

卒業後の進路（臨床施設卒業研修）

猪：猪越 洋平先生（H28 あま指科夜間部卒）

大：大隅 豊先生（H28 あま指科夜間部卒）

神：神田 芽美先生（H28 あま指科夜間部卒）

（司会：後藤 健太郎）

司：卒業教育研修に参加されている方々にお話を伺いました。卒業研修ではどのようなことをされていますか？

大：奥住知子先生がメインで、部位別疾患に対する手技や鍼による治療を教えてもらっています。そのまま実践で活用できる内容です。

神：その他、特別講師（竹内廣尚校長・小野博子先生・石原克己先生・齋藤鳳観先生・大浦慈観先生）による特別授業もあります。
在学中の授業に比べて、より実践的な内容を教えてもらっています。

猪：それぞれの先生の独自の診察・治療方法の他、各先生の治療に対する考え方や、患者さんとの向き合い方なども学ばせていただいています。

司：在学中との違いはどんなところですか？

大：小人数でより密度の濃い授業になっています。
相対練習がベースになりますが、先生に直接指導していただける時間もしっかり確保されるので、自分の技術を短期的にレベルアップできる環境が整っています。
また、治療家として手の感覚やその他の感覚の鍛え方なども教えてもらっています。
在学中の授業ではなかったのが、すごく興味深いです。

神：週2日ですが、朝から夕方までたっぷり時間をかけて、一つの技術を練習できるので、しっかりアップができ、気が充実してきて実際の練習ができ、その復習をじっくりと繰り返せる時間が確保できるので、一つ一つの技術を確実に習得できています。

猪：全員が有資格者なので、休み時間など、教員の立ち合いがなくても相対練習ができることも、技術習得には大きなポイントだと思います。

また、在学中は国試のこともかなり気になっていましたが、今は技術の習得だけに集中できる環境が整っている点も大きなメリットです。

司：雰囲気はどんなかんじですか？

神：なごやかでとても楽しいですよ。

大：相対練習中は全員の集中力が高まり、心地よい緊張感の中で技を磨いています。

猪：研修生のほとんどが開業という具体的な目標を持っているので、技術習得に対する皆さんの本気度はかなり高い。全員の方向性が一致しているから相乗効果があります。

司：卒業研修には何を期待していますか？

猪：実際に臨床現場に立っておられる先生に直接ご指導いただけるのは、とても勉強になります。また各先生の臨床でのエピソードも聞けることもすごく大きいと思います。

大：患者さんを、自分一人で診察して、自分一人できちんと治療できるような治療家になるために十分な技術や人間性を磨ける場所だと思っています。

神：在学中はプールで泳ぐ練習をしているようなもので、資格を取って実際の患者さんを診るというのは、外海に一人で泳ぎ出すようなものです。
でも、まだ一人で泳ぐ自信がないので、卒業研修を受けています。
卒業研修は外海に出てはいるのですが、近くに泳ぐ方向や泳ぎ方を指導してくれる伴走がいるような状態だと思っています。
1年後には、一人で自由に泳げる状態になりたいと思います。

司：在学生に向けて一言コメントを下さい。

猪：自分自身の体調管理できるようになっておくことが大切です。

勉強のストレスで睡眠不足や体調不良になりがちですが、自分の体調は自分で管理できるようにしておきましょう。

臨床に出ても、自分が不調だと、患者さんに良い治療は提供できません。体調管理が基本です。

大：将来、自分が治療家として、どういう風に生きていきたいのか？どういう人生を歩みたいのか？ということを、今のうちにしっかり考えておいてください。その為に今すべきことが自ずと見えてくると思います。

神：今は国試に向けてプレッシャーがあると思います。

本校には素晴らしい先生や先輩、そしてクラスメートが揃っています。勉強面・体調管理面などのアドバイスをたくさん受け、みなさんの力を借りながら、体に気を付けて頑張ってください。

